

キャラクター名  
郡 深紅 (こおり しんく)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	高校一年生	性別	男
覚醒	命令	衝動	憎悪	初期侵食率	33 %	
出自	母親不在	経験	汚れ仕事	邂逅	ビジネス (ルナリア・ナイトレイ)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	3	0	0			3	行動値	9
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	9
精神	3	1	3			7	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
青蓮	R C	10r+4		15+3+9		侵蝕8/攻撃力18(+9)/コンセ+氷の塔+餓えし影 (+費)/範囲 (選択)/同エンゲージ不可
@100-	R C	13r+4		18+4+12		攻撃力22(+12)
↓単体攻撃@100-↓		0				
黒縄	R C	13r+4		4+20+18		100↑/侵食8/攻撃力42(+12)/コンセ+プラズマ+餓えし影 (+費)/単体

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
究極のゼロ (アブリユート・ゼロ)	P	N		
仇	P 執着	N 憎悪		
ルナリア・ナイトレイ	P 連帯感	N 隔意		
シナリオ: 八乙女優作	P 好奇心	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:サラマンダー	3	2+1	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv (下限7) /Dロイス効果で判定ダイス+3個、侵蝕3								
氷の塔	5	4	メジャー	視界	範囲 (選択)	RC	-	
効果: 攻撃力:[Lv*3]の射撃攻撃/同エンゲージ不可								
餓えし影	1	1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果: 攻撃力:[Lv+2]の射撃攻撃								
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	RC	100↑	
効果: 攻撃力:[Lv*5]の射撃攻撃								
喰らわれし贅	3	1	オート	至近	自身	-	-	
効果: オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた際に使用/シーン中のウロボロスのエフェクトを組み合わせた攻撃力+[Lv*3]/1シーン1回								
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果: 飛行状態で戦闘移動を行う/移動距離+[Lv*2]								
先陣の火	2	2	セットアップ	至近	自身	-	-	
効果: ラウンド中、行動値+[Lv*5]/1シーン1回								
メモリー: クラスメイト	1							
効果: P: 関心								
快適室温	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動成功	-	
効果: シーン内の気温をあなたが快適だと思う温度に調節できる、シーンの一部だけを変更してもよい								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

元より大切なものなど何もない。  
そのような人間は"この世界"にとっては都合がいい。  
擦り切れるまで戦い、潰える。それが自分に課された使命であり末路なのだろう。  
……ならば、世界の望み通り、傀儡として戦うだけだ。

【概要】  
身も凍るような冷気と影を操って戦うUGNチルドレン。  
任務の都合もあり学校には通っているが、よく潜入先が変わるため、人間関係は基本的に希薄。事を荒立てないために目立たず騒がず。  
ひとたびUGNに戻れば自分の意志などないかのように振る舞い、黙々と任務をこなしている。

学校以外ではおよそ人間らしい生活をしておらず、趣味と言える趣味もないが、昔巻き込まれた妙なバンド活動により作曲や演奏、歌唱などを一通りこなすような音楽の才能を開花させてしまった。  
ただし、本人はまったく自覚がない上に興味もない。

---  
まだ幼い頃、母がいた。優しい人だった。  
兄がいた。明るく元気な子供だった。  
あとは……思い出せない。思い出したくない。  
母が殺された。それだけが記憶にこびりついている。

『こちら側の世界へようこそ。君の名前は郡深紅。十分にその力を発揮するといい』